



か え で ゆ う び ん 1月号

2 0 2 1 年 1 月 1 日
社 会 福 祉 法 人 清 松 学 園
幼保連携型認定こども園 かえで保育園
園 長 引 地 美 津 代

あけましておめでとうございます。新しい年。世界中から「コロナ」という言葉が過去形になり、人々が穏やかに普通の生活が送れるようになることを願います。

まだまだ油断はできないのが現状ですが、子どもたちの元気と笑顔が絶えることなく生活していけるよう保護者の方々と一致団結して乗り越えていきたいと思います。

できる限り人混みを避ける・密にならない・正しい手洗いを励行する・体調管理を丁寧に行い、変化に気づく等大人の生活が子どもの手本となります。

最近感染症対策がすべてにおいて緩くなったと思われた矢先、イタリアの変異型ウイルスの感染者が出た報道がありました。説によるとこの変異型は子どもにも感染しやすいといわれています。

年明けの保育体制を万全にし、保育が止まることのないよう衛生管理・体調管理を厳しくしていきます。

年明けの登園は長いお休みで生活のリズムが乱れがちです。お子様の園生活を優先していただければ幸いです。

さて、12月の『かえでフェスティバル』では職員間で何度も何度も話し合い「密にならない」「子どもたちの成長を少しでも伝えたい」「時間配分」「レイアウトのポイント」など、今回はできないをできるに変えるということを前提に計画しました。本来は12月の「せいちょう発表会」では一人ひとりが集団の中で自分をどう表現したいかをお伝えする行事です。そして、年明けから「かえでの楽しい日」に向けて子ども達に作品に向けて取り組んでいき一人ずつの思いを聞いたり、アドバイスしたりして楽しみながら進めていきますが、2020年1月から感染症対策で何をするにも神経を使い、次の見通しが予想できない日々を過ごしていた中ではじめは中止をすることも考えました。ですが同時開催をし、園舎全体を使い、何とかでいるのでは？と開催の決断をしました。10月運動発表会後の時間をぎゅっと凝縮しての開催でした。

保護者の方々にご協力頂いたアンケートでは「癒されました」「会を催してくださり感謝します」「だいちの演奏に心をうたれました」という励ましの言葉を多く頂きました。何よりの励みとなりました。

また、一方で「写真だけで作品の説明がない」「職員の保護者へのコミュニケーションができていない」などの記述もありました。今回は会場の設定の仕方や幼児の観劇では使用前後の消毒等に職員配置しながら、園内の作品掲示は外からゆっくり見ていただけるよう写真・コメントもわかりやすく作成させていただきました。なるべく大人の接触を避けるという意図で点在しての掲示の仕方で行っていました。このご意見の方には意図するものをもう少し丁寧にお伝えすべきだったと思います。まだまだ課題はありますが、何より子どもたち一人一人が元気で参加できた奇跡に感謝いたします。

昨年1年間は今までの当たり前前の事が当たり前前にはできない事へ困惑しスタートしましたが1年を経て一つずつの生活様式や考え方が当たり前前では通用しない世の中であったことに気づきがありました。

この気づきを無駄にせず、保育・教育していきたいと思います。

今年度もどうぞよろしくお願いいたします。



2月は大忙しで、「かえでフェスティバル」「幼児クラスのバス遠足」「おたのしみ会」と駆け足でしたが、多くの行事を楽しめました。準備・ご協力ありがとうございました。

12月12日の「かえでフェスティバル」では、子ども一人ひとりの作品を展示し、子どもの「やってみたい」を形にしました。幼児になると昨年までの経験から「ここはこんな風にやってみたい、こんな素材を使いたい、これがある」などたくさん思いを出しながら作品作りを楽しみ、試行錯誤しながら取り組んでいます。かえで保育園の「表現する」で大切にしていることは、作品を作ることが目的ではなく、子どもたちの成長や思いを担任間やグループ、園全体で話をしたり、アドバイスしたりしながら子どもが自ら作品を仕上げていく過程を見守っています。

その子それぞれの思いや工夫したことなどを伝え合ったり、記録してみたり「こんなところが成長したよね」「こんな仕草もかわいい」など職員間での話は尽きません。展示期間は1日になってしまいましたがこれからも一人ひとりに寄り添い、子どもと共に過ごす時間を大切にしていきたいと思います。2021年新しい年、保護者の方とも語り合える時間が増えることを願いながらスタートとし、思いで多い一年にしたいと思います。

主観保育教諭 藤森寿美

陽が落ちる時間が早くなり、夕方の時間は室内で過ごすことも多くなりました。

幼児クラスはにこにこ広場やランチルームにすきなおもちゃを用意し、友だちと積み木でツリーを作ったり、こままわしをしたり、真剣な表情で将棋を打つ姿も見られました。

ふたば組の部屋では、めばえさんとふたばさんが一緒に過ごしています。

そこへつぼみさんがやって来ると、少し難しいパズルや指先を使ったあそびにふたばさんも興味津々で触れ、あそびの幅も広がっているように思います。

年下の友だちを愛おしく感じだいちさんもあそびに来てくれるのですが、その姿をみた

ひかりさんも“わたしも入っていいのかな？”とそっとふたば組の扉を開け覗きにきてくれます。年齢も個性もそれぞれの子どもたちが自分の居場所を自らで選択し、心地良さそうに

過ごしている姿に、“この時間を大切にしたい”と心から思いました。

今年度も残りわずかですが、何か特別なことではなく日常の中に隠されている子どもの思いを

大切に汲み取り、育ちへと繋げていければと思います。そしてその中に子どもたちが自分の意志で選択できる場を、散りばめていきたいです。

副主幹保育教諭 河本彩奈

～先生コーナー

あけましておめでとうございます。あっという間に年が明け、今年はどんな年になるのかドキドキワクワクしています。

お正月と言えばみなさん何を思い出しますか？私は毎年、家族や親戚が集まり新年のあいさつをしにいきます。そこで毎年、集まるたびに小さい頃の思い出がよみがえります。年末は母と一緒に家の大掃除をしたり、祖母とおせちを作ったり、風揚げをしたり…。そんな出来事を楽しみながら過ごしていました。

大人になってから、子どもの頃に経験していたことが段々となくなり、「まあ、いっか～」と思うようになりました。幼い頃はおせち料理の具材が毎年一緒に疑問を抱えていました。そこで母や祖母に1つ1つの食材に意味があることを教えてもらいました。

今年は、大勢で集まることは出来ませんが、お家で正月料理を作ったり、普段しないことや新しいことを見つけてチャレンジしてみたいと思っています。その挑戦を楽しみながら私らしさを見つけていきたいです。

年明けは、子どもたちからお正月の話をしてくれるでしょう。1月にそれぞれの子どもたちの話が楽しみです。ゆっくり話す機会を大切にしながら、遊びや生活の中で子どもたちのやってみたい気持ちや、不思議に感じたことを一緒に考えていながら楽しく過ごしていきたいと思います。

山本 あかね

～めばえぐみ～

ねらい： 園庭で身体を動かして遊ぶ・友達と一緒に楽しむ

うた： まめまき・むすんでひらいて・おてぶしてぶし

よくお世話に来てくれるだいち組のお姉さんが、「めばえさんにどうぞ」と手作りのマラカスをプレゼントしてくれました。中にはキラキラの綺麗なビーズが！「食べちゃうから周りは描いてないの」「開かないようにふたはテープ貼ってるよ」と心のこもった工夫もされていました。みんなでフリフリ♪歌に合わせ、身体を揺らしながら音を鳴らして楽しんでいます。そこで、めばえ組のお友達も自分でマラカスを作ってみました。ぜひ真っ赤なお鼻のトナカイマラカスで、お家でも歌を楽しんでみて下さい。



「おねえさんといっしょに」

夕方、日が落ちる時間が早くなりだいち組のお姉さんたちがお世話に来てくれるようになりました。初めは“だあれ？”と不思議そうな緊張した顔をして、様子を伺っていた子どもたちですが、最近では“これで遊ぼうよ”とボールやおままごとのスプーンを差しだし自分から誘いに行き、ぎゅっと抱き着いてニコニコ喜んでいる姿が見られます。子どもたちの世界に安心出来る人が増え、幼児のお友達との間にも信頼関係が生まれていることに嬉しくなりました。

また、つぼみ組も一緒に過ごすようになり、夕方は体操の時間になりつつあります。「ミックスジュース」や「パプリカ」「バナナチップス」など毎日ノリノリで参加しています。難しい振付もお姉さんたちを見て上手に真似っこしています。



「いっちに！いっちに！」

暖かかった12月初旬には43号線までお散歩に出かけました。少し長い距離でしたが、前を向いてぐんぐん歩いて行く子どもたち。大人がビックリするほど体力が付いてきました。歩いていると、道端のいちょうやバス、サイレンを鳴らしたパトカーなど様々なものに出会う事ができました。見つけると“あっ”と指差しや声で教えてくれます。園を飛び出して出会う珍しい物との出会いも楽しめました。

43号線まで行くと、葉っぱがたくさん落ちている場所を発見！保育者が降らす葉っぱのシャワーに大興奮で、「きゃ〜！」と嬉しい悲鳴が沢山響いていました。自分でもやってみたい！と葉っぱを掴んで挑戦し、保育園に帰って来てからも風で飛んできた葉っぱを使い、シャワーをして遊んでいます。住宅展示場の「牛」にも出会いました。



“担任の思い”

絵本を読んでから園庭に行くのですが、最近は絵本を持つだけで“はっ！”と気が付き畳の上に座って待っていてくれます。食べ物が出てくると「あむ」と口をもぐもぐさせ、挨拶は一緒にお辞儀をし、リズムを付けるとゆらゆら揺れながら楽しんでいます。言葉も少しずつ出てきて真似っこもしてくれています。一音一音を一生懸命伝えようとしてくれる姿がなんとも言えない可愛さです。新しい響きやリズムとの出会いを大切に、子どもたちと素敵な言葉を紡いでいきたいです。

立田 瑛怜菜・宝田 聖美・柴原 ちはる

～ふたばぐみ～

ねらい：「身体をいっぱい動かそう」「お友達と一緒に」

うた：「おもちゃのちゃちゃちゃ」「せんべ」「てんやのおもち」

寒い日が続いていましたが、子どもたちは「寒～！！」といいながらも、身体も温めるためにみんなで走りまわることが大好きになりました。身体が温まると次は「ミックスジュース」「パプリカ」「はなかつぱ」など体操をして元気に身体を動かすのが日課になっています。寒さに負けず子どもたちと身体を動かして元気な身体をつくっていきます。

「一緒に食べると美味しいね」

園庭や室内でもお友達と関わりが増え一緒に遊べるようになってきました。おままごとではみんなでご飯をたくさんテーブルの上に並べ、「いただきます～」と食べる真似をして遊んでいます。

また食事のときに保育者がその日の献立を言う真似をしてお友達やぬいぐるみに「今日のごはんは…」と伝えていました。またテーブルに並べだけではなく、タッパにごはんを入れてハンカチでお弁当を保育者に包んでもらい、カバンの中に入れてお友達と手を繋いで「いってきます」と出かけていきます。「どこいくの」と聞くと「お散歩～」とお弁当を持ってお友達と少し歩きお部屋では窓辺に座りお弁当広げてぬいぐるみとみんなでピクニックをして楽しんで遊んでいました。



「手のひらサイズ」

園庭では寒い中ではありますがお団子づくりにはまっているふたばさん。じょうろを見つけるとお水を汲んで地面に水溜まりを作り、「お団子つくりたいの」と保育者の手を引っ張りに水たまりのできたところに誘い、スコップを渡し準備万端です。そして保育者が手で丸めているのをじっと見つめ自分たちも土を手に取り、丸めようとするものの難しく「壊れちゃった」と悲しそう表情を見せながら何度も手に取り繰り返していました。すると子ども達の手のひらサイズ小さいかわいらしいお団子が完成しました。自分で作ったお団子を見ると嬉しそうに



「みてみて～！できたよ！」と教えてくれ、壊れないよう大事に握りしめていました。

“担任の思い”

お友達と同じ遊びをすることが多くなり楽しそうに一緒に遊べるようになりました。それと同時に気持ちがあまく伝わらなかったり距離感が近すぎたりとぶつかりあうことも増えてきました。毎回保育者が子ども達の気持ちを受け止め遊びが楽しく継続していけるように援助しています。4 月当初はそれぞれが一人遊びをしていましたが、今では友だちと一緒にすることがうれしく「一緒に遊ぼうよ」「いいよ」と子ども達同士の会話が聞こえ友達への意識が出てきました。これからももっと「友だちと一緒に」が深まるように保育をすすめていきたいです。

星加 由美子 植木 雅 松岡 桃花

～つぼみぐみ～

ねらい：「自分の思いを伝え合い一緒に遊ぶことを楽しむ」

うた：「まめまき・雪のペンキ屋さん」

冷たい風が吹きはじめ、冬の訪れを感じます。保育室の絵本も冬や雪の絵本と季節を感じられるように工夫しました。最近では自分たちで好きな絵本を手にして、自由に見て楽しんでいます。絵本から感じる冬の様子に子どもたちもわくわくして過ごしています。「ゆきあそびしたいね！」「サンタさんどこかな？」と次々と楽しいことや寒い冬ならではの変化を見つけ、冬の寒さを吹き飛ばして思い切り楽しんでいきたいと思います。

～つぼみぐみのクリスマス～

12月といえばクリスマス！子どもたちも朝の歌を歌いながらとても楽しみにしていました。そこでつぼみ組の特製ツリーをみんなで製作しました。ローラーで色を塗ったり紐を段ボールに通していったりと、これまでの絵の具遊びや紐通しといった、子どもたちの大好きな遊びが存分に詰め込まれた特大のツリーが完成しました！そして最後はみんな



で飾りつけも楽しみました。拾ったどんぐりや落ち葉を貼りつけたり、毛糸でボンボンを作ったりと思い思いの飾りつけ

をし、元気いっぱいなつぼみ組らしいキラキラしたツリーに仕上がりました。完成したツリーを部屋の真ん中に置くと、自然とみんなが集まり楽しいクリスマスの会話が始まります。クリスマスにはどんなプレゼントをもらおうか・・・お家のツリーには何を飾ろうか・・・笑顔いっぱいに楽しそうに話す様子にこちらまで温かな気持ちになります。ツリーを中心に子どもたちの楽しい輪が広がっています。



～もしもし、どうしましたか？～

秋頃よりつぼみ組で大人気な遊びが「お医者さんごっこ」です。赤ちゃんのお世話遊びから広がった病院ごっこですが、自分が病院に行った時と重ね合わせているのか「きょうはどうしましたか～？」「ちょっとみるね～！」と聴診器をつけたかわいいお医者さんが、さながら会話を見せてくれています。もちろんお医者さん役だけでなくお母さん役の子どもたちも優しく抱っこしたり服を脱がせてくれたりと、気分はすっかり小さなお母さんです。器具の使い方も子どもたちなりに考えて体温計、注射はもちろん、あまり見慣れない物も友だち同士で話しながら「これはつめきりじゃない？」「足トントンするやつかも！？」とイメージを膨らませて遊びを広げていっています。

友達同士での関りがぐんと増え、保育者に頼ることから友だちに尋ねることが増えてきました。友達と一緒に遊ぶことが楽しい！と感じられる空間、またそのような関係性をこれからも作り、見守っていききたいと思います。



“担任の思い

遊びでもたくさんの成長が見られる子ども達ですが、生活面でも大きく成長してきました。「できないよ・・・」と保育者に助けを求めていた夏から、「自分でやる！」「どうしたらいい？」と自分で最後までやろうという思いが強く見られるようになってきました。食事時には苦手な物でも食べてみたり、友達と誘い合って一緒にトイレに行ったりと保育者からの声掛けだけではなく、友だちの姿からも刺激を受けている様子が見られます。一緒に過ごす中で楽しいことも共有し、さらに一緒に挑戦していくこと、そしてみんなで出来るようになった喜びを分かち合っています。そのような友達関係が築けつつある子ども達の成長をとてもうれしく思います。

今井奈沙・小坂橋円香・尾崎美緒

～はま・かぜ～

ねらい：「身体を動かして遊ぶことを楽しむ」「友達の思いを知る」

うた：「北風小僧のかんたろう」「もちつき」

かえでフェスティバルでは、子ども達の作品や発表を通して自由に表現する様子を見て頂くことができましたと思います。一人ひとりの興味のあることが今後も継続して楽しむことができるように見守っていきます。

2021年も子ども達の“楽しい！おもしろい！”でいっぱいになりますように。



“さむい冬がやってきた” ～はま・かぜ～

園庭に出ると、強い風がびゅーっと吹いてきました。

「さむーい！早くお部屋に入ろうよ。」「わたし冬きらい！」

と、口々に話す子どもたち。

寒くなってくると外に出ることも億劫になってきますよね。

しかし子どもたちはやっぱり遊びの天才です。風に吹かれて葉っぱたちが舞う様子を見て大興奮。「すごい！メリークリスマスって感じ！」と話し出し、ほうきやちり取りを持ってきて、葉っぱをたくさん集めました。

両手いっぱいに落ち葉を抱えて、強い風が吹いてくる瞬間を

待ちます。なかなか風が吹かないと、待ちきれない子どもたちは、「おーい！

北風小僧のかんたろうさん！風を吹かせてー！」と

空に向かってお願いしました。

すると強い風が吹いてきて、みんなで一斉に落ち葉を空に

向かって投げ、ひらひらと舞う様子を見て大喜びでした。

それから風が吹いてくるたびに、「メリークリスマス！」の掛け声で、みんなで空いっぱいに葉っぱが舞う様子を楽しんでいました。



“お兄さん、お姉さんに任せてね。” ～ひかり～

今、だいち組がいぶき組のお世話をしてくれているように、来年度ひとつ大きくなった時、ひかり組も今のつぼみ組のお世話をしてくれるようになります。今からゆっくり時間をかけて、関わりを深めていくことができるように、ペアを考えました。

ひかり組の子どもたちに話をすると、「だいちさんみたいに

お世話できるってこと？！」「お昼寝の後とか、起こしに行っているの？」と目をキラキラさせながら嬉しそうにしていました。

いつもは 15 時になってもまだ眠たいとなかなか布団から出てこないひかり組ですが、みんな 15 時ぴったりに起きて、つぼみ組を迎えに行き、一緒にテラスでおやつを食べました。また、ペアで手を繋いで白鹿まで歩いて重機見学もしました。お世話をしなくちゃいけない相手ではなくて、一緒に過ごす事が楽しいと思うような存在であってほしいです。これからどう関係が

深まっていくのか楽しみです。

“担任の思い”

いよいよ新しい年が始まります。みんなひとつ大きくなることを今からとても楽しみにしていますが、だいち組と一緒に過ごすことができるのも、残り少なくなってきました。新しいペアの友達と過ごすことで、今までだいち組にしてもらってきたことを振り返ったり、一緒に過ごすことのできる時間を大切にしてほしいです。また友達が困っていると、子ども同士で話を聞いて助け合う姿も見られるようになってきました。自分の思いを言葉で伝えることで、互いの思いを知ることを多く体験してほしいです。

～はま・かぜ2～

“バス遠足”

6月に予定していたバス遠足。感染症もあり断念していましたが、見直し、12月にバス遠足で「神戸動物王国」に行けました。友達や保育者と一緒にバスに乗ることや、どんな動物がいるのかワクワクしていました。「もう少ししたら神戸どうぶつ王国だよ！」と待ち遠しい様子でした。だいち組だけでなく、ひかり組の子どもたちの中でも持ち物を友達同士で確認し合ったり、保育者に聞いたりしながら、保護者の方に「すいとうがいるよ！」と自分で伝えられました。子どもたちの声からペンギンやナマケモノが見たいという意見や想像が膨らんでいく中で、子どもたちの間でも動物の話で盛り上がっていました。どうぶつ王国では、スナネコの赤ちゃんをみたり、うさぎに触れたり…たくさんの動物に大興奮！バードパフォーマンスショーも見ました。間近に飛んでくる鳥に拍手絶賛な子どもたちでした。



行きのバスでは、いぶき組の子どもたちとの会話でほっこりするエピソードがありました。「先生好きなの。あのね、Bくんも好き」と教えてくれたAくん。隣にいるBくんと顔を見合わせると少し照れながら笑いあっていました。「〇〇くんも好き」「いぶきさん好きなんだあ」と話してくれました。ゆったりと過ごす時間の中で、会話を楽しみながら友達と一緒にいることの心地よさ、友達の大切さを感じたようです。そんな子どもたちの「心」に出会い、嬉しくとても温かい気持ちになりました。

“朝と夕方の時間”



園庭に出ると「寒い～」と話す声が聞こえてくる中で、足湯に浸かったり、ドッチボールや鬼ごっこ、相撲などみんなで身体を温めながら楽しく元気に過ごしています。朝には綺麗な赤色に色付いたもみじを拾い集めるとき、もみじの葉に霜が張り付いているのを発見！歩いていくと築山にも霜を見つけました。これから冬ならではの変化に子どもたちがどんな発見をしていくのか楽しみです。

夕方の時間では、ランチルームで好きな遊びをして過ごしています。積木ではどうぶつ王国での出来事を思い出し、マップを持って来て「確かここに鳥もいたよ」「ここでお昼ご飯も食べたわ」と話しながら、友達や保育者と過ごした時間を振り返り、友達と一緒に組み立てていくことを楽しんでいました。寒い冬も子どもたちと共に「楽しい！」と感ずることを見つけていきながら過ごしていきたいです。



“担任の思い”

遊びや生活の中でも、自分でロッカーの整理整頓をやってみようとしたり、集団あそびでは友達と意見を出し合い、一緒に考えながら遊ぼうとしています。難しいことや困ったときには声を掛け、互いに助け合おうとしています。

友達同士の関わりから共感し合えることや、一緒にいることの心地よさを感じ、信頼できる関係になっているんだと思うと1年での子どもたちの成長を感じます。様々な経験から友達とのやり取りを通して、感じた気持ち、友達の温かさをこれからも大切にしていきたいと思います。

山本 あかね

ねらい：「時間を意識して過ごす」「まわりに感謝の気持ちを伝えあおうとする」

う た：「ふるさと」「ありがとうこころをこめて」「ね」

年の瀬が近づき、1 年を振り返りながら「あと3ヶ月で小学生だね」と話をしました。子どもたちからは「え！」と驚きの声が上がると同時に、この3ヶ月でしたいこと、挑戦してみたいことをそれぞれ一緒に考えてみました。「またきっとできるだいぼうけんの日がないな」「甲山を違う道から登ってみるのはどうかな？」とだいち組で体験したことを思い出しながら話してくれる子もいました。15 人の仲間と過ごす保育園での3ヶ月をより思い出でいっぱいになるよう、生活の中で大切にしたいことを身に付けながら丁寧に関わっていきたいです。

“一人ひとりが主人公”

「なんだかお祭りみたいだね」と園庭や室内に飾られた思いが詰まった作品やみんなの合わさった音が空に響きわたった合奏などお祭りのような1日だったかえでフェスティバル。作品、歌、



劇、合奏も、1 年の思い出を振り返りながらやってみたいことを一人ひとりの思いを引き出しながら進めていきました。

劇あそびでは、だいち組になってから今まで過ごしてきたことや夢中になっていたことを振り返りながら、その時の気持ちを思い出しながら表現していました。合奏では少しずつ音が合わさる瞬間を楽しみながらも「みんなで合わせるよ」「準備してはじめるよ」と子どもたちの真剣に向き合おうとする場面もありましたが、同時に15人全員の気持ちを一つにする難しさも経験しました。その中でも自然とそれ



ぞれの素敵なおところを褒めあえるようにもなってきました。褒められるとなんとか照れくさそうでしたが、とてもあたたかい雰囲気は一人ひとりの作品づくりにも繋がりました。思うようにいかず葛藤する姿を側で見ているからこそ、友だちにも伝えられるように感じました。発表会が近づくにつれ、周りの友だちの様子をよく見たり、相手と息を合わせることでひとつになれることに気づきました。当日は緊張している様子でしたが「大丈夫、きっとできる！」と声を掛けあう姿は、みんなと同じ時間を過ごしてきた思い出があるからこそ一人ひとりが自信をもって表現しました。

“担任の想い”

発表会が近づくにつれて、合奏の曲『ピリープ』の歌詞にある「必ず僕が側にいて」が「必ず”みんな”が側にいて」と子ども達から自然と言葉が変わり始めました。みんなの気持ちがそれぞれの音となって奏でられたように、歌詞の意味も子ども達も少しずつ理解しているように感じました。合奏の練習中や作品づくりの時には「こんなことできるの、すごいよ」「いいところ見つけたよ」と友だちにこっそり伝え合うことから、困っている友だちがいた時には1人で考えることから誰かと一緒に方法を考えたり積極的に声を掛けようとする姿が増えてきています。これからも一人ひとりが周りを思いやることや、相手の気持ちを考えることの大切さに気づくきっかけになってほしいと思います。

周りにいる友だちや先生、お家の人に見守られながら大切に思われて過ごしてきた日々を自信に変えることができるよう、残された時間を15人の仲間で1日1日大切に過ごしていきたいです

保護者の方からのお話コーナー

保育園からの帰り道は、園で歌っている歌を歌いながら帰ります。
今のお気に入り「小さい秋みつけた」です。
息子のかわいい歌声は心の癒しアイテムです。

いぶき組 まさこさん

車が大好きなので、保育園に消防車がきたときの集合写真を貼っておいてよく見えています。

〇〇くん（ちゃん）はどこ？と聞いていくと指さしてくれて、全員覚えているようでびっくりしました。まだ、言葉が少ないけど、お友達と過ごした思い出はたまっていってくれてるのかな、と思うと嬉しくなりました。

ふたば組 みのりさん

保育園生活も残りあとわずか。
転園してきた当初は、新しい園に馴染めるか心配する日々でしたが、当時のだいち組のお兄さんお姉さんや、先生、周りのお友達に優しく助けてもらい、今では立派なだいち組のお兄さんになりました。色々な人達に助けてもらったことを忘れず、周りの人達のことを気遣える優しい人になってほしいと思います。

だいち組 えみさん

かえでフェスティバルの当日「うまくできるかなあ心配」と言っていた娘。去年はただ楽しいだけだったのが、今年は上手にしようと緊張しているのを見て、一年の成長を感じました。本番は楽しそうに出来ていたので良かったです。

ひかり組 みさこさん

今年で最後となった成長発表会。
めばえ、ふたばの頃は皆の前に出るだけで泣いていた娘。六回目の発表会は、堂々と演奏したり、手紙を読んでいて、立派なだいち組さんの姿を見せてくれました。
かえでで過ごす残り少ない時間を楽しく過ごしてほしいです。

だいち組 まゆさん

最近、朝の登園時には大泣きする息子。それでも夕方お迎えに行くと「やりとげました！」という満足気な表情で先生に手をひかれ歩いてきます。

息子にとってかえでさんがあたたかく安心できる場所なんだと私もほっとしています。

めばえ組 さなえさん

☆お台所より☆

新年あけましておめでとうございます。

まだまだ寒い日が続きますが、新しい年がスタートしました。

2021 年もかえて保育園のおともだちが元気いっぱいに過ごせるように「食」を通して、心も体もぽかぽかになる美味しいごはんをたくさん提供していきます。もちろん 1 月も旬の食材をたくさん取り入れた献立を考えています。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

～今月の食育活動の様子～

- ・かぼちゃの種取り（つぼみ）

冬至の日、お昼ごはんに「かぼちゃのそぼろ煮」を出しました。



そのかぼちゃの種取りをつぼみさんにしてもらいました。

ゆがいていない生のかぼちゃはとても固く、スプーンですくうのも一苦労。「かたいよ～」「とれないな～」と大変そうにしていたのですが、少しお手伝いするとあっという間に綺麗に種を取ってくれました。

おひるごはんでは、自分達で種を取ったかぼちゃを嬉しそうに食べてくれました。



- ・はくさいちぎり（いぶき）

大きなはくさいを目の前にして「持ってみたい！」という子がおり持ってみると・・・「おも～い！」

「赤ちゃんみたい」と嬉しそうに重いはくさいを持ち上げていました。ちぎる度に「これくらい？」と見せてくれて、大きいものからちっちゃいものまで多種多様で、持てないくらいの大きなはくさいは気付くと 小さなはくさいに！ おいしいほうれん草と油揚げの和え物にいただきました。

- ・ゆず湯を飲んでみよう！（幼児さん）

冬至の次の日、おやつにゆず湯を出しました。ゆずを絞り砂糖と水を混ぜたもので、こどもたちにはあったまってもらおうと、温かいものを提供しました。天然のゆずの香りが園いっばいに広がり、とてもいい匂いでした。飲んだ感想を聞いてみると、「甘酸っぱかった！」「おいしかった！」と好評のようでとてもよかったです。苦手な子もいましたが、「一口飲んでみて？」と言うと最初は嫌そうでしたが飲んでみると、「え！おいしい！」と満面の笑みを見せてくれました。

～1 月に予定している食育活動～

- ・おせち風の料理を食べる
- ・七草の意味や食材を知り、おやつに七草粥を食べてみる
- ・野菜をちぎる、食材に触れてみる

～1 月の献立で使用する旬の食材～

だいこん かぶ はくさい こまつな ブロッコリー ほうれんそう みかん りんご いよかん



はくさいちぎり



ゆず



12月のケーキ



- ・12月29日から1月3日までは園が休園となります。
緊急時（とくにコロナ関係の報告）は携帯にご連絡してください

080-9500-1997(かえで保育園園携帯)

- ・かえで保育園の冬期休暇
12月28日～1月6日
- *1号の方・育児休暇中の方はお休みとなります。1号以外の方も保護者の方のお仕事がお休みとなる場合は家庭保育をお願いします。

こんなことしたよ♪

12日はかえでフェスティバルがありました。保護者の方のご協力のもと、子どもたちの成長した姿やたくさんの思いが詰まった作品をご覧いただくことが出来ました。お忙しい中ご参加いただきありがとうございます。



23日はお誕生日会とお楽しみ会がありました。ピエロが来たり、幼児さんは暖かい日差しの中お庭でご飯を食べたり、おやつにはフルーツたっぷりのロールケーキを食べました。夕方にはだいちさんがクリスマスの音楽に合わせてキャンドルサービスしてくれました。その後にはかえで保育園に届いたサンタさんからのプレゼントを理事長先生と園長先生から受け取りました。盛りだくさんな一日になり、子どもたちの嬉しい、楽しい表情をたくさん見る事が出来ました。



★お願い★

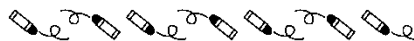
- ・体調管理をしてください。
引き続き、衛生管理に努め、丁寧に消毒等を行っていますが、新型コロナウイルスに加えて、インフルエンザや胃腸風邪などが流行ってきます。お子様の発熱・体調不良の場合は保育できません。登園時の検温でも微熱があった場合お迎えをお願いします。
ご理解、ご了承ください。また、解熱しても2日はご家庭で様子を見ていただき無理をして登園することは避けてください。また、**ご兄弟の方も一緒に家庭保育をお願いします。**皆が健康管理に努め感染しないよう気を付けてすごしたいですね。

・内服薬、気管支拡張剤の預かりはしません。

- ・保護者の方がお休みの場合は家庭保育をお願いします。ご兄弟と一緒に休み下さい。
- ・病院や健診など受診の際には、必ず事前にお知らせください。

・園で着用する衣服や持ち物等、名前が記入されているかご確認ください。

上着の名前が記入されていないで困っています。



1月予定

- 13日（水）移動動物園
- *野菜の持ち寄りをお願いします
- 15日（金）震災避難訓練・月例健診
- 19日（火）もちつき
- *体験としてもちつきを行います
今年は保護者参加はありません
- 22日（金）だいち 園外保育予定
- 26日（火）ゆきあそび（ひかり・だいち）
- *手紙を配布しています
- 29日（金）誕生会

- *7・14・21・28日 体操
12日はだいちのみ体操
- *8・20日 絵画
- *1月30日（土）は園内研修があります。
13時までの保育となります。

2月の予定

- *6日（土）新入園児説明会
できるだけ家庭保育にご協力をお願いします
- *20日（土）園内研修
13時までの保育となります。

3月の予定

- *13日（土）卒園式
卒園児以外は家庭保育となります。
ご協力をお願いします。
- *27日（土）年度末会議
お弁当日となります。
できるだけ家庭保育にご協力をお願いします
- *3月、お別れ遠足の日、弁当日となります。